

# 文法をやさしく

ぶん ぼう

## 第9回 Vと～

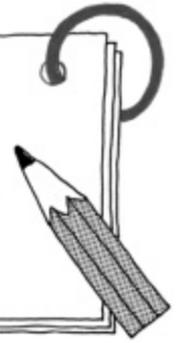
だい かい

学習段階：初級後半

がくしゅうだんかい しょきゅうこうはん

キーワード：複文・非過去・意志性・モダリティ

ふくぶん ひかこ いしせい



### 1. 非過去の「Vと～」

ひかこ

今回の複文は「Vと～」の文です。

こんかい ふくぶん

みなさんの初級教科書では、「Vと～」の複文を導入するとき、どんな使い方を紹介していますか。この複文は、道案内や、機械の使い方の説明、天気や季節のしくみを表すときの表現で学習させることが多いようです。その際、ふつう、〈1〉～〈3〉の例文のような、非過去の文だけが扱われます。

- 〈1〉 橋をわたると、公園があります。
- 〈2〉 お金を入れて、赤いボタンを押すと、ジュースが出ます。
- 〈3〉 雨が降らないと、よいお米ができません。

非過去の「Vと～」は、条件表現の中では、「Vたら～」、「Vば～」より早く勉強する教科書が多いようですが、意味が似ているため、「たら」や「ば」の文を勉強すると、混乱して間違いが出やすくなります。

今回は、非過去の「Vと～」の文の作り方のルールを整理して、この表現が持っている意味の特徴や、使いやすい場面を考えてみたいと思います。

それではいつものように、この表現が使われている例を読んでください。次の文章は、チェスによく似た日本の「将棋」のプロが書いた文章から引用しました。この人は、将棋以外に、文章を書く仕事もよくします。引用した部分には、その仕事のように書かれています。

私はいまだに手書きで、コクヨの原稿用紙にコツコツと書いている。…(中略)…いつも「将棋指しは目が命。パソコンを長時間見ていると疲れるので、手書きで書くんだ」といっている。



いまだに……いまでも、まだ  
コクヨ……文房具の会社の名前  
コツコツと……少しずつだが、着実に  
将棋指し……将棋を指す人、将棋 player、  
ここでは将棋を仕事にしている人  
目が命……目が(命と同じように)一番大切な  
先崎学『まわり将棋は技術だ』(文藝春秋) p.179 1.10～13  
(下線は荒川・木山による)

「将棋指し」である筆者は、文章を書くときにパソコンを使わないことについて、いつも同じ理由をあげています。パソコンを長時間使って目が疲れることを、法則のように決まっている原因と結果と筆者はとらえていて、目が疲れないように、いつも手書きで書いているといっています。

この、法則のように決まっている原因と結果という点に注意して、例文の〈1〉～〈3〉をもう一度見てください。

たとえば、〈1〉の道案内では、だれが、いつ、その橋をわたっても必ず公園があります。〈2〉の説明も同じです。赤いボタンをだれが押すか、いつ押すかによって「ジュースが出る」という結果が変わることはありません。

しかし、ルールや習慣ではなく、これからどんな行動をするかという話し手の意志を表す文では「Vと～」は使えません。〈4〉と〈4'〉を比べてみましょう。

- 〈4〉 毎朝、会社へ行くと、Eメールを送ります。  
まいあさ かいしゃ い おく
- 〈4'〉 明日、会社へ行くと、Eメールを送ります。(??)  
あした かいしゃ い おく

文末は、同じ「送ります」ということばですが、〈4〉のように「毎朝」ということばといっしょに使うと、習慣を表します。〈4'〉のように「明日」といっしょに使うと、話し手の意志を表すので使えません。この意志性については、第7回の「VためにV/VようにV」、第8回の「Vたら〜」の説明にも出てきました。意志性は、複文について勉強するとき、大切なキーワードです。

## 2. 前件後件の関係と、文末のモダリティ

前件と後件の意味関係に注意して、以下の例文を読んでください。

- 〈5〉 風が吹くと、木の葉がゆれます。  
かぜ ふ こ は
- 〈6〉 運動をすると、おなかすきます。  
うんどう
- 〈7〉 カップにお湯を入れて3分待つと、ラーメンがで  
きます。  
ゆ い ぶん ま
- 〈8〉 「■」のボタンを押すと、テープがとまります。  
(テープレコーダーやラジカセなどの説明)
- 〈9〉 わたしは勉強中に眠くなると、いつもコーヒを  
飲みます。  
べんきょうちゅう ねむ
- 〈10〉 次の新幹線で帰ると、東京に8時に着きます。  
つぎ しんかんせん かえ とうきょう じつ
- 〈11〉 駅を出ると、売店があって、そのとなりにタクシー  
乗り場があります。  
の ば

これらの例文では、前件の出来事、つまり、「風が吹く」ことや「運動をする」ことがきっかけとなって、後件が結果として成立しています。後件は、前件の結果として自然に起きるとか必ず起きると考えられていることです。前件が成立してから、後件が成立するという順番になります。〈5〉～〈8〉のように一般的などこでもだれにでも繰り返す起きることもあれば、〈9〉～〈11〉のように特定の人やものや場所に限っていてもあります。「1.」で「法則のようにきまっている原因と結果」と書いているのは以上のような意味です。一般的な法則や習慣について話すとき、道案内や道具の使い方の説明などによく使われる表現です。

次に、文末の表現に注意してみましょう。非過去の「Vと〜」の文では文の終わり方にルールがあります。〈12〉～〈15〉を見てください。

- 〈12〉 本を読むと、返してください。(??)  
ほん を 読む と 返す ください
- 〈13〉 お酒を飲むと、運転してはいけません。(??)  
お酒 を 飲む と 運転 しては いけません
- 〈14〉 明日晴れると、テニスをしましょう。(??)  
あした 晴れる と テニス を しましょう
- 〈15〉 明日晴れると、洗濯します。(??)  
あした 晴れる と 洗濯 します

聞き手が動作をするかしないかに影響を与えるような言い方〈12〉〈13〉、話し手と聞き手がいっしょに同じ動作をするように誘う言い方〈14〉、話し手自身がこれから意志的動作をすることを表す言い方〈15〉では、非過去の「Vと〜」の文が使えません。〈12〉から〈15〉の例はすべて、「Vたら〜」の文に変えると、正しい文になります。

話し手が聞き手の意志に働きかけたり、自分の意志を表したときは、非過去の「Vと〜」の文を作ることはいけません。〈12〉から〈15〉の文にはこのような制限はありません。

## クイズ

文法的に正しい文はどれですか。

- (1) 今度長い休みがとれると、沖縄が北海道に行きま  
しょう。  
こんど ながい やすみ が とれる と 沖縄 が 北海道 に 行きま  
しょう
- (2) 頭が痛いときは、この薬を飲むと、なおります。  
あたま が いた ときは この 薬 を 飲む と なおります
- (3) 国に帰ると、手紙をください。  
くに に 帰ると てがみ を ください
- (4) 今晚友だちが遊びに来ると、勉強ができなくなります。  
こんばんとも ともだち が 遊び に 来ると べんきょう が でき なく なります
- (5) お祭りの季節になると、大勢の人が田舎に帰ってき  
ます。  
まつり の 季節 になると おおぜい の ひと が 田舎 に 帰って きます
- (6) 海で泳ぐと、いつも水着 (swimming suit) を着ます。  
うみ で およぶ と いつも みずぎ を 着ます
- (7) 子どものころの写真を見ると、いつも友だちのこと  
を思い出します。  
こ の ろの 写真 を 見ると いつも ともだち の こと を 思い出 します

## 参考文献

西口光一『基礎日本語文法教本』(2000) アルク p.189-191  
にしぐちこういち 『基礎 日本語 文法 教本』 (2000) アルク p.189-191

蓮沼昭子ほか『日本語文法セルフマスターシリーズ7.  
条件表現』(2001) くろしお出版  
はすぬまあきこ ほか 『日本語 文法 セルフマスター シリーズ 7. 条件 表現』 (2001) くろしお出版

(L) (S) (A) (Z) : ぎょうごどろ

「文法をやさしく」のコーナーは今回で終わります。次号からは新しい文法のコーナーが始まります。どうぞお楽しみに。

担当者：荒川みどり (日本語国際センター客員講師)、木山登茂子 (日本語国際センター専任講師)